

彩りスイッチ!

- 日常を輝かせる色のチカラ -

北九なび

Vo.05 2026.7.15発行

【夏の特別版】日本の伝統色を楽しむ — パーソナルカラー別浴衣選びのヒント —

こんにちは。色の専門家の八尋恭子です。今日も”色”のお話を少し。前回のコラムでは、日本の伝統色をテーマに、その美しさや、日本人が色に込めてきた想いをご紹介します。桜色、藍色、藤色……。色の名前を聞くだけで、季節の景色や情景が浮かんでくる。そんな日本ならではの色の世界を、楽しんでいただけたでしょうか。そして今回は、夏の特別版。せっかくなら、その伝統色を「見る」だけでなく、身につけて楽しむお話をしたいと思います。

① 夏は浴衣が着くなる季節

夏祭りや花火大会。浴衣姿の人を見かけると、「ああ、夏が来たなあ。」そんな気持ちになりませんか。最近は、伝統的なものからモダンなデザインまで、さまざまな浴衣が並んでいますよね。だからこそ、「どんな色が自分に似合うのかな?」と迷う方も多いのではないのでしょうか。そんな時に参考になるのが、パーソナルカラーです。

② パーソナルカラーって何?

パーソナルカラーとは、生まれ持った肌・瞳・髪の色などと調和し、その人の魅力をより引き立ててくれる色のことです。実際の診断では、たくさんの色布(ドレープ)を顔の近くに当てながら、顔映りの変化を見て判断していきます。一般的には、SPRING(春)/SUMMER(夏)/AUTUMN(秋)/WINTER(冬)の4つのタイプに分けられます。今回は、それぞれのタイプにおすすめの日本の伝統色の浴衣をご紹介します。ご自身のタイプが分からない方も、「私はどのタイプかな?」と、夏の浴衣選びのヒントとして楽しみながらご覧くださいね。

③ SPRINGタイプにおすすめの浴衣

SPRINGタイプは、明るく澄んだ色がよく似合うタイプです。おすすめの伝統色は、桃花色(ももはないろ) ふんわりと愛らしい桜ピンク/浅緋(あさひ) 明るく華やかな紅色、血色アップ/空色(そらいろ) 青空のようなやさしい水色。柄は、小花柄・水玉模様など、可愛くて軽やかな印象のものが◎明るく華やかな魅力が、自然と引き立ちます。

④ SUMMERタイプにおすすめの浴衣

SUMMERタイプは、やわらかく上品な色が得意なタイプです。おすすめの伝統色は、藤色(ふじいろ) 涼しげで気品ある青みパープル/白群(びやくぐん) 透明感のある涼やかな水色/韓紅花(からくれなゐ) 高貴な色とされる、上品で涼しげな赤。柄は、朝顔柄・流水模様・縦縞など、涼感ある繊細な柄が◎日本の夏らしい、しとやかな美しさが漂います。

⑤ AUTUMNタイプにおすすめの浴衣

AUTUMNタイプは、深みや温かみのある色がよく調和するタイプです。おすすめの伝統色は、練色(ねりいろ) 生成りがかかったやわらかなベージュ/海松色(みるいろ) 渋めのグリーンで落ち着いた印象/柿渋色(かきしぶいろ) くすみ感のある赤茶系。柄は、萩や楓などの植物柄、縦縞、緋風などのモダンレトロ柄が◎落ち着いた大人の魅力を、さりげなく引き立ててくれます。

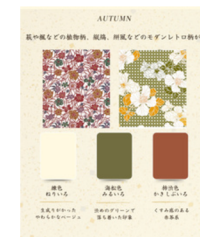
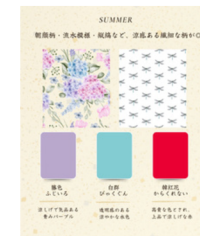
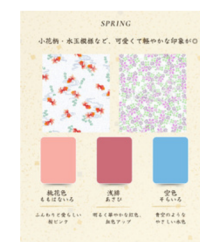
⑥ WINTERタイプにおすすめの浴衣

WINTERタイプは、はっきりとしたコントラストのある色が得意なタイプです。おすすめの伝統色は、濃藍(こいあい) 夜空のような深い藍色(浴衣の鉄板人気色)/江戸紫(えどむらさき) 涼やかで大人っぽい、凛とした雰囲気/萩色(はぎいろ) 上品な紫みの明るい紅色。柄は、大胆な花柄・幾何学模様など、コントラスト強めな柄が◎存在感のある浴衣姿が、自然と様になります。

⑦ 「似合う色」は、あなたらしさを引き立てる

パーソナルカラーは、「この色しか着てはいけない」というものではありません。好きな色を楽しむことは、もちろん大切です。そのうえで、自分に似合う色を知ると、肌が明るく見えたり、表情が生き生きと見えたり、いつもの浴衣姿が、さらに魅力的になったり。伝統色は”似合う”だけじゃない。あなたの内面や、魅せたい印象まで映し出してくれます。前回ご紹介した日本の伝統色。そして今回のパーソナルカラー。どちらも、「色をもっと楽しむ」ためのヒントです。この夏、ぜひあなたらしい一枚を見つけて、日本の美しい色を思いきり楽しんでみてくださいね。

次回は「見た目温度って知っていますか?」色には、実際の気温は変えられなくても、「涼しく感じさせる力」があります。この夏、暮らしに取り入れたい「涼しげな色」の秘密をお届けします。



八尋 恭子 (Kyoko Yahiro)

色の専門家/OUTFRONT8 代表・K's Color Academy 主宰

Instagram

北九なびに寄稿



パーソナルカラーをはじめ、色彩・感性・日本文化をテーマに講座やイベント、ワークショップを展開。企業イベントや地域活動を通じ、色が人の印象や表情を変える面白さを伝えている。近年は月をテーマに、感性や人とのつながりをひらく「月灯りプロジェクト」を始動。さらに、戦国武将の色彩美学を探る「SengokuColors」など、色と文化を結ぶ企画も進行中。海外で日本の色彩文化を紹介する活動にも取り組む。筑豊を拠点に、福岡・北九州を中心に活動中。

